

豊郷町隣保館だより

2023年8月25日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.233

第2回豊郷町人権学習講座

『ウトロに生きる・ウトロで出会う』

=地域の歴史を伝える「ウトロ平和祈念館」=

「ウトロは戦争と植民地支配を背景に生まれました。」
ウトロの始まりから現在まで、丁寧にお話いただきました。



『ウトロに生きる ウトロで出会う』 第2回人権学習講座を開催しました』

8月17日(木)に開催した講座には50名のおみなさんが参加、講師の金秀煥(キムスファン)さんのお話を真剣な表情で聴いておられました。

今年度からはコロナ禍の制限を外し、自主的な参加としていきます。2回目の講座は、ウトロ平和祈念館副館長のスファンさんから、在日コリアンの人たちが暮らすウトロ地区の、差別と分断を乗り越えた人々の歩みについてスライドを用いながらわかりやすく話していただきました。感想を抜粋して紹介いたします。

・「差別を許してしまう社会に問題があるという言葉にとっても重みを感じました。人権学習講座に参加させていただくと毎回自問自答する機会をもらえます。」

・「今まで、ウトロという地区があることを知りませんでしたでしたが、今回に講座を受けて、その背景や歴史について知ることができて良かったです。」

・「現状の日本社会の縮図だと思わされます。この日本は、「超」標準化(スタンダード)を目指しているために、小さな「差」が生き難さにつながっていると、常日頃から思わされています。お話を聴いて、今日より明日が誰にとっても生きやすくなるようにと思いました。」

・「つい、この前までこんな差別があったこと、今もあつること、辛い思いをされている人々がいることを知り驚きと共に、社会の在り方を考えさせられました。」

始まりを知る、ということはとても大切なことです。あたり前にそこにあるけれど、実はあたり前でない壮絶な歩みがあった、「あきめたら終わりや」、ウトロの人々の言葉が現在の平和祈念館につながったのです。スファンさんの思いが伝わった講座になりました。